

2. 各校の発表内容及び質疑応答

(1) 八戸工業大学第二高等学校

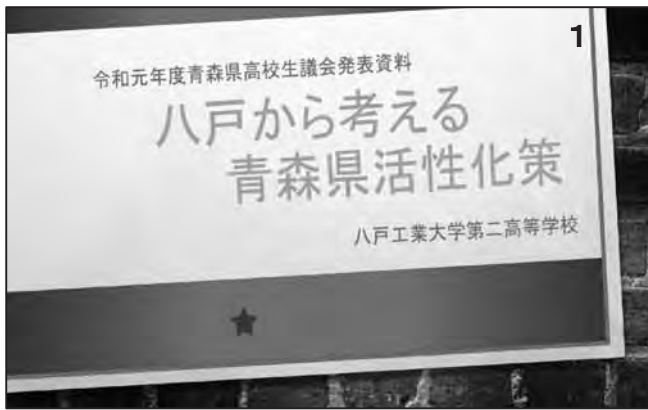
「八戸から考える青森県活性化策」



令和元年度高校生模擬議会

八戸工業大学第二高等学校

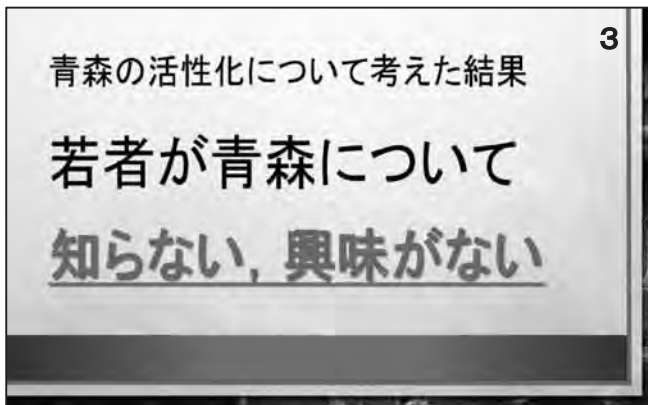
令和2年2月6日(木)



これから、八戸工業大学第二高等学校の「八戸から考える青森県活性化策」についての発表を始めます。

お願いします。

こんにちは、八戸工業大学第二高等学校です。（１）（２）



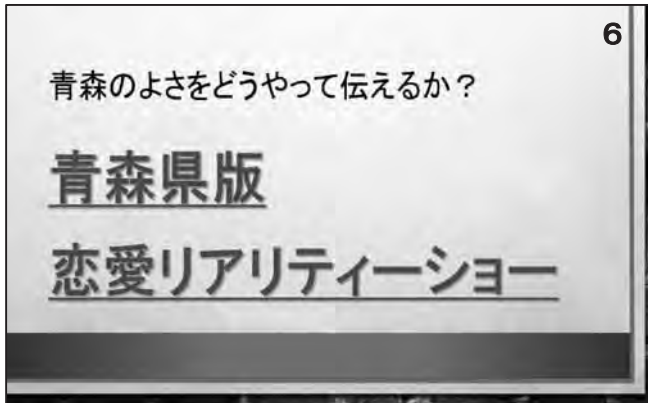
私たちが青森県の活性化策について考えた結果、若者が青森の良さを知らないためにあまり興味がないと感じました。（３）



例えば、楽しい遊び場を知らない、県内の大学についてどんな大学があるのかを知らない、就職先が少ないと知っているなどです。（４）



でも、そんなことはないと思います。(5)

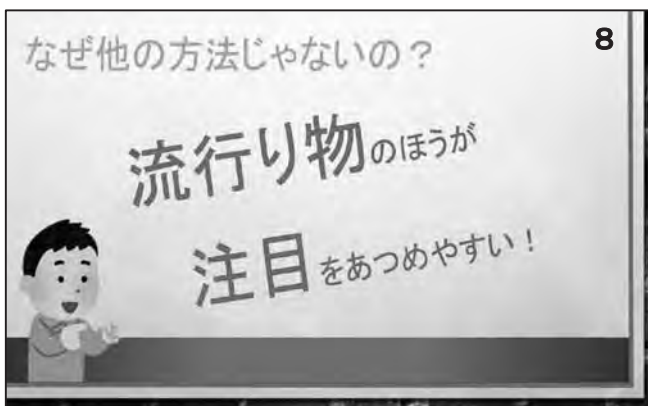


そこで、私たちは、青森県に住む若者や県外の人にもっともっと青森の良さを伝えるためには、「青森県版 恋愛リアリティーショー」を行うという方法が良いのではないかと考えました。(6)



「恋愛リアリティーショー」とは、事前の台本や演出はなく、よく知られたプロの俳優でない素人の出演者たちが恋愛ドキュメンタリーやドラマ感覚で楽しめるものです。

演技や台本、やらせのない出演者の行動をカメラが追う形式のテレビ番組でもあります。(7)



他の方法ではなく、恋愛リアリティーショーにした理由は、今まで作られてきた青森県のPR動画では、現代の流行ものの方が視聴回数が伸びているということに気がついたからです。

現代の流行もので、例えば、YouTubeで配信されているDA PUMPさんのUSA八戸バージョンやアナと雪の女王 雪だまるつくろう八戸弁バージョンなどです。

県外の方々のコメントも多く寄せられていました。

現代の流行もので方言だけでなく、青森の良さを一緒に伝えられるのは、恋愛リアリティーショーだと思います。(8)

9

流行りものであるため流行が過ぎたら
あまり注目されなくなる可能性もある。

どうかカバーしていくか…

→出演者の年代を変える。

→その時の流行をうまく取り入れるなどの工夫をする。



ですが、流行ものであるために流行が過ぎてしまうとあまり注目されなくなる可能性もあります。その対策として、毎回、出演者の年代や男子と女子の比率を変えるなど、その時の流行を上手く取り入れるなどしてカバーできると思います。(9)

10

・出演者全員が主人公！

・たくさんの視聴者
(高校生～30代前半)を得られる！

・たくさんの人に興味を持たせつつ、
青森県の良さを広められる。

恋愛リアリティーショーの効果は、ドラマのように一人の主人公がいるわけではなく、出演者全員が主人公になるということです。これにより、視聴者の中でも応援したい人がバラバラになることによって、より母数の多い視聴者を得られます。

また、対象とする年齢層を高校生から30代前半に設定することによって、それぞれの世代別の憧れに沿うことができると思います。


沢山のの人に興味を持たせつつ、青森の良さを広められるのではないのでしょうか。(10)

11

✓リアルだけどドラマチック

✓幅広い年代の視聴者が増える

✓胸キュン要素がある♡




現実よりは少しドラマチックで、ドラマよりは少しリアルな丁度良いバランスのあるものです。

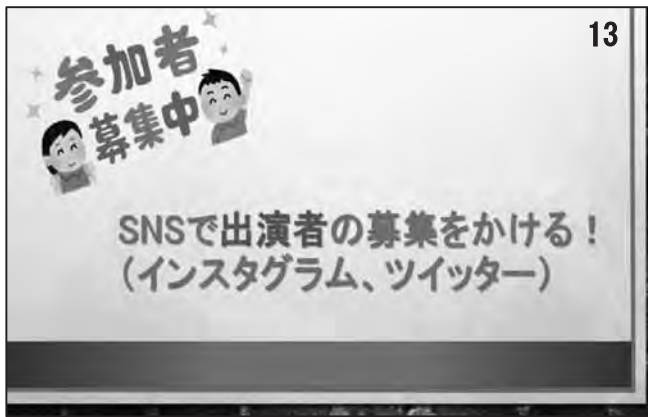
更に胸キュン要素もあり溢れていて、視聴者の「次が気になる」を引き出せるのだと思います。(11)

12

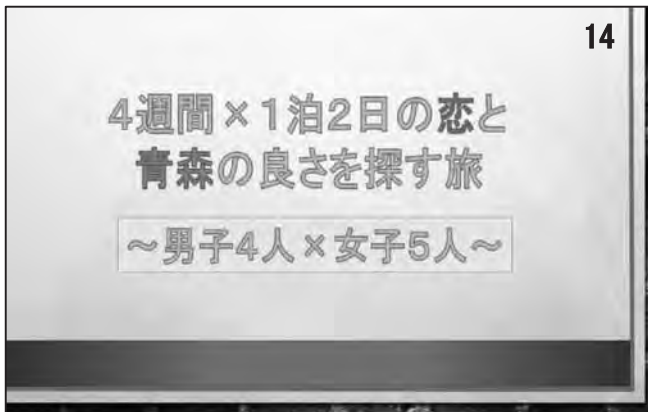
「わ、なのこと好きなんず」



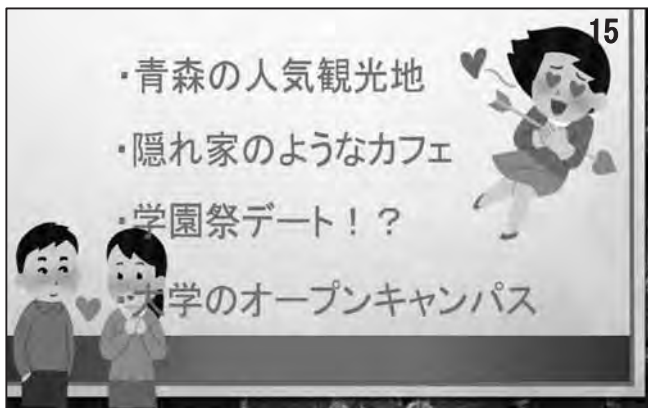
私たちが考えた恋愛リアリティーショーのタイトルは、「わ、なのこと好きなんず」という恋愛リアリティーショーです。(12)



まず、SNSで出演者の募集をかけます。そこから出演者の選考をしていきます。(13)



主に4回×1泊2日で恋と青森の良さを探す旅です。男子4人と女子5人を出演人数として旅を行います。(14)



青森県の人気観光地やあまり知られていない隠れ家のようなカフェ、また、高校生であれば大学の学園祭やオープンキャンパスを活用したデートをします。出演者が観光地や学園祭を回ること、視聴者は、その場所にも興味が湧き、「行ってみたい」や、「ここの大学いいかも」と少しでも青森県のものに興味を持ってもらえたいと思います。(15)



そして、放送方法は、人気俳優や若い世代の人たちが使っているアプリ、インスタグラムを活用したいと考えています。タグ付けもできますし、沢山の人が使っているので影響力もあると思います。(16)

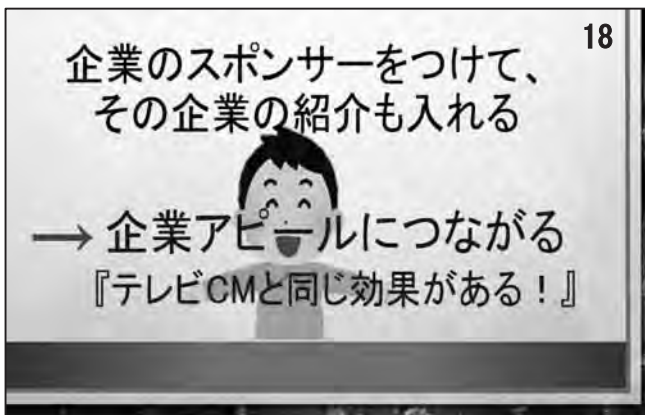


30分×9話の長さでストーリーを構成し、1週間に1回の放送を考えています。

1日を1話として8日分、9話目には4週間の中で楽しかった場所や旅の思い出を交えた告白の回にしたいと考えています。毎回、終わりのエンディングで御協力してくださったスポンサーやお店を短く紹介します。

また、T i k T o kというアプリも沢山の人が使っています。

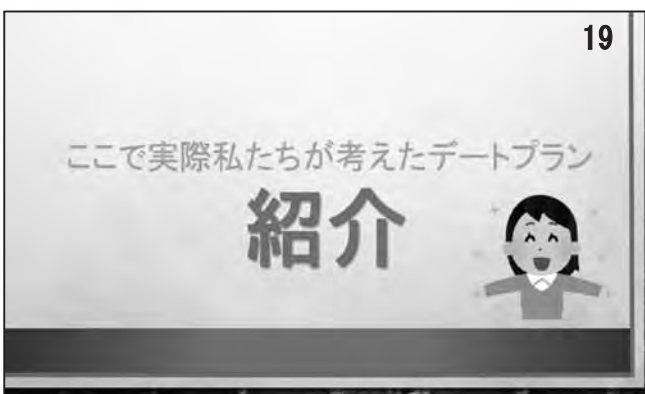
T i k T o kには、リンクを貼り、そこからInstagramに飛べるという機能があります。それを活用し、予告をT i k T o kで流し宣伝していきます。(17)



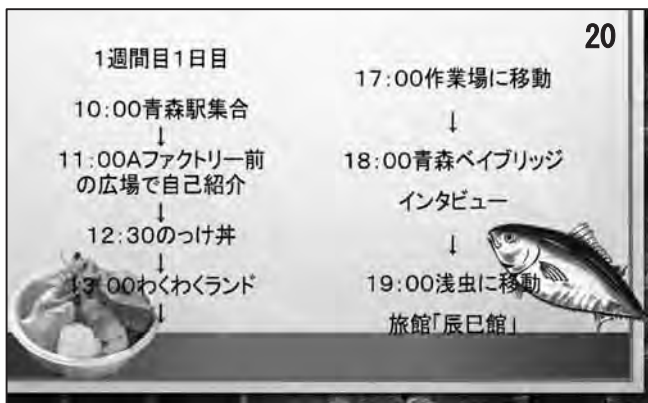
また、経済面でのサポートも欠かせないと考えています。

クラウドファンディングで資金調達支援をしてもらい、恋愛リアリティーショーに係る費用を集めます。支援してくださった方々には、返礼品として、青森県の特産品であるりんごなどを送ります。

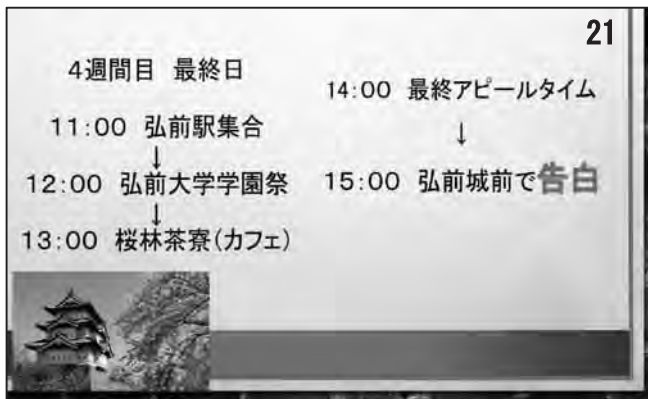
企業のスポンサーを付けて、その企業の紹介を入れることで、テレビのCMと同じような効果が得られると思います。そして企業アピールに繋がり、青森県での就職を考えてくれる人が増えるという沢山の利点があります。(18)



そこで、実際に私たちが考えたデートプランを紹介したいと思います。(19)



1週間目の1日目には、青森駅に集合し自己紹介を行います。その後にのつけ丼を食べたり、わくわくランドに行き、最後には浅虫に移動して旅館に泊まります。(20)



4週間目の最終日には、弘前大学学園祭に行った後に今、若者に大きなちごパフェが人気の桜林茶寮というカフェでご飯を食べます。

最後のアピールタイムを行い、弘前城前で告白をします。

話だけでは分かりづらいと思いますので、実際にペープサートを使ってやってみたいと思います。(21)



(女子)

こんにちは、青森県弘前市から来ました小田桐七海です。18歳です。

「ななみ」って呼んでください。

青森県の好きなのは、日本一の桜が咲く弘前城が素敵なところです。よろしくお願ひします。

(男子)

初めまして、青森県の青森市から来ました、鈴木たくやです。「たくや」って呼んでください。17歳です。

好きなことはサッカーです。青森の好きなのは、ねぶた祭りが一番盛り上がる場所です。よろしくお願ひします。

ところで、昼ご飯、食べましたか？
もし、まだなら一緒に海鮮丼を食べに行きませんか？

(女子)

いいですね、行きましょう。(22)



(お店の人)

よく来てくれました。私のお店では、新鮮な海鮮丼を扱っています。お客さんに満足してもらえるようにサービスとしてイクラはいくら盛っても値段は同じです。沢山食べて行ってくださいね。

(女子)

すごく美味しい、初めてこのお店に来た、来て良かった。また来たい。

(男子)

はい、僕もそう思います。
この後は、大学のオープンキャンパスに行ってみたいですね。行きましよう。(23)



(弘前大学)

ようこそ弘前大学へ。
今日は、皆さんに大学のキャンパスを見学してもらいたいと思います。
本校は、医学部をはじめ6つの学部で構成されています。大学院もあるんですよ。
今日は、皆さんに沢山の大学を、大学の良いところを発見してもらいたいと思います。是非、見に行ってください。

(女子)

弘前大学って、沢山の人が通っているのね。私は、将来、学校の先生になりたいと思っているから、教育学部を見学してみたいな。

(男子)

そうなんですか。
実は僕も子どもと関わる職場に就きたいと思っているんです。だから、もしよろしければ、一緒に教育学部の様子を見に行きませんか？

(女子)

誘ってくれてありがとうございます。一緒に行きましょう。

見学後

(男子)

とっても楽しかったです。

(女子)

うん、とっても楽しかった。
興味を持ったから、弘前大学についてもっと調べてみたいと思ったわ。

(男子)

そうですね。僕もどんな様子かを知ることができたので、進路選びの参考になりました。
(24)



いよいよ告白タイムです。

(男子)

七海さん、あなたといろんな場所を回った後、あなたと青森の素敵なところを沢山知ることができた。これからは君のことを沢山知っていきたい。好きです。付き合ってください。

(女子)

嬉しい、私もたくや君が好き。よろしくお願いします。

(インタビュアー)

好きになったきっかけは何ですか？

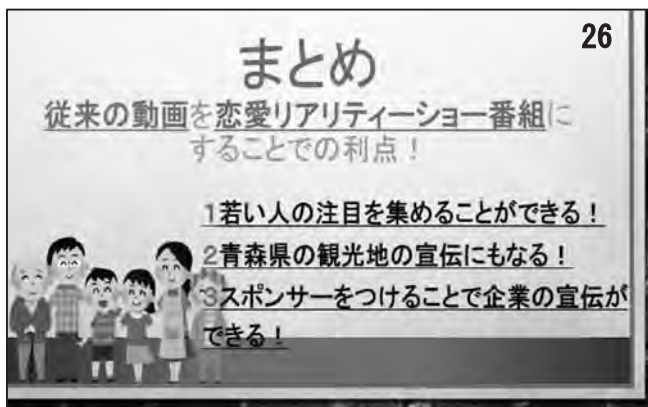
(男子)

そうですね。やはり海鮮丼を食べに行った時ですね。その時にゆっくりと話をすることができて、彼女のことを沢山知ることができました。そこから段々気になりはじめて、オープンキャンパスで一緒に見学した時、「あっ、この子だな」と思いました。

(女子)

私もオープンキャンパスの時に、将来の夢などの共通点があって、「この人なら楽しく過ごせそう」って思いました。

本来なら、カップルが成立することが目的の恋愛リアリティーショーですが「わ、なのこと好きなんず」では、青森のことをもっと幅広い世代の人に知ってもらうために、興味をもってもらうことが目的なので、カップルが成立しなくても大丈夫です。(25)



このような感じです。

恋愛リアリティーショーを行うことの利点として、若い人の注目を集めることができる。青森県の観光地を沢山の人が知ってもらえる。企業をスポンサーにつけることで企業アピールにも繋がり、青森県での就職を考えてくれる人が増える。この3つの点です。

以上、私たちが考える青森県活性化策についての説明を終わります。

御静聴、ありがとうございました。

(26)

【質 疑】

● ^{いちのへ}一戸 ^{ふみお}富美雄議員（青和会）

（一戸議員）

ただ今の発表、大変楽しくわくわくして聞かせていただきました。

青森を元気にするというテーマでは、仕事だとか観光だとか、そういう切り口が、この後の皆さんもそうですけども、こういった恋愛を通した発表というのも初めて聞きましたし、「わ、なのごと好きなんず」って喋られればどうすべな、こう思いながら聞いておりました。

そういう意味で、聞いていて、1つキーポイントというのは、流行ものは駄目だ、基本には、青森に行くところとか、共感をいたしました。

そして、世代をある一定の高校生から30代ぐらい、そういう縛りもありました。

そして、一番、今の発表の中で大事なものは、企業の関わり方、スポンサーになってもらったり、そして、その会社のことを知ってもらうというは大変良いことだと思うんですけども、お聞きをしたいのは、この企業って、青森の企業というのは、大きい企業から、あるいは東京に本社があって青森に来ている企業、それから中小から、多くの企業、いろいろな企業があるわけでありすけども、皆さんが、この企業に対して、どういう働き掛けをして、この活性化をしていくのか。もし、これまでお考えがありましたらお聞きをしたいと思います。

（回答）

御感想と御質問、ありがとうございます。

近年では、他県に就職する人が沢山増えてきています。それを食い止めるために私たちは、青森県内で就職できる職業を沢山の人が知ってもらう必要があると考えました。

なので、私たちは、恋愛リアリティーショーを通して、企業のアピールをし、その代わりにスポンサーになってもらおうと考えました。

そのスポンサーになってもらうための例として、企業のCMを作成し、恋愛リアリティーショーの合間に流すことで、テレビのCMと同じような効果が得られるのではないかと考えています。そのCMでは、どのような企業で、どんな仕事をするのか、やりがい何かを話してもらい、それをまとめて企業のアピールをし、スポンサーになってもらおうと考えています。

（一戸議員）

ありがとうございました。

そのSNSですか、それらに流すということは、大変良いことだと思いますから、是非、実行ができるように、県の皆さんもおりますから、要望するなり、何なりしていただきたいと思います。

1つだけ。

今日の発表が、どこかでやるとしたら、さっき、演劇の時に話をしていた「私、あなたのこと好き」なんじゃなくて、「わ、なのごと好きなんず」、こういうことを入れていただければいいか思っています。

ありがとうございました。

(菊池議員)

大変お疲れ様でございました。

私、青森県の最も北のむつ市というところの選出の菊池と申します。よろしくお願いいたします。

今日の発表でありましたけども、一番最後の表現方法が一番リアリティがあって、皆さんの個性が非常に表れているなという感じを思っていて、是非、こうした手法を使っていただきながら、これからも様々なことを発信していただきたいと思います。

中でも、これ、いわゆる、よく海外の番組とかでやっている「テラスハウス」みたいなことを考え、それが大体ベースになっているんだろうというふうに想像しますが、本当、恋愛というのは、やっぱり若い世代に非常に興味を引くものだと思いますし、そういった中で、このドラマの舞台が青森県にあるということでもありますから、非常に興味深い、興味を引くようなことになっているんだというふうに思っています。

ただ、出演者があっての、こういった番組だということなので、また動画を配信をするということでありまして、またそれを観ていただくための手法というか手段ですね、非常に必要になってくるんだと思います。

ですので、どうしてこの出演者の皆さんに多く出ていただくのか、また、動画配信を増やしていくために、どうやって取り組んでいるのか、お尋ねをさせていただきたいと思います。

(回答)

御質問ありがとうございます。

まずは、出演者を集めるためにチラシまたは市町村の広報誌に募集要項や企画内容を掲載し、企業や高校に配布していこうと思っています。

しかし、それだけでは、県内の方のみにしか伝えることができないので、県外の方に対しては、世界中で利用者が16億人以上いるインスタグラムや世界中で利用者が1億人以上いるT i k T o kでタグ付けをし、投稿することでより多くの方に見ていただけたと思います。

また、動画配信も同じように影響力のあるアプリを利用することで、国内の方のみだけでなく、国外の方にもアピールできると思います。

以上です。

(菊池議員)

最後に成立しなくても良いということで御意見があったんですけど、青森県、人口がどんどん、どんどん減っていておりますから、こういったことで移住していただく、あるいは、カップルが成立して、そののちお子さんを沢山産んでいただけるような、そんな仕組みに変わっていけば、なおのことこの政策が良い方向に向かっていくのではないかと考えていますので、是非、これからはこういったことに磨きをかけていただいて、多くの皆さんに支持をいただけるようなことにしていいただければと思っております。

私たち議員も、是非、参考にしながら、これから様々な検討を重ねて参りたいと思います。

ありがとうございました。

(吉俣議員)

吉俣といいます。どうも御苦勞様でございました。

私は、娘が高校3年生で、丁度皆さんと同じぐらいの世代で、父親のような想いで見させてもらいました。娘の世代がそういうふう立派に発表されたこと、力強く聞かせてもらいました。

また、テーマが恋愛ですから、娘のことを思うと、親としてはドキドキする。文字通り「胸キュン」ですね。これは親の世代も楽しめるなと思って聞かせてもらいました。胸キュンとか、インスタとか、先ほどのテラスハウスですけど、娘が観ていたのは、クロちゃんのあれですよ。ああいう感じですよ。是非、いいなと、大事だなと思って聞きました。

私、八戸工業大学を卒業ですので、皆さんの学校の隣、毎日のように通りながら通っております。

今回は弘前が舞台になったものでしたが、八戸を舞台にした「青森県版 恋愛リアリティーショー」を作成するとしたら、どんな場所や、あるいはどんな体験を伝えたいか、是非聞かせてください。

(回答)

御感想と御質問、ありがとうございます。

八戸といえばせんべい汁や種差海岸などが有名なので、せんべい汁が食べられるお店でお食事をしたり、種差海岸の爽やかな潮風を感じながらキャンプをするのはどうでしょうか。

そうすることによって、県内外の方々の「行ってみたい」や「食べてみたい」を引き出せるのではないかと思います。

以上です。

(吉俣議員)

ありがとうございます。

種差海岸も良いところですよ、本当に。

弘前も本当に良いところですし、青森市内にも良いところが沢山あります。皆さん自身も良い恋愛ができるように、またそれも願って終わりたいと思います。

ありがとうございます。